

子供企画型 レポート

テーマ

目指せ集客5000人！ 地域貢献イベント 開校10周年記念〇〇祭

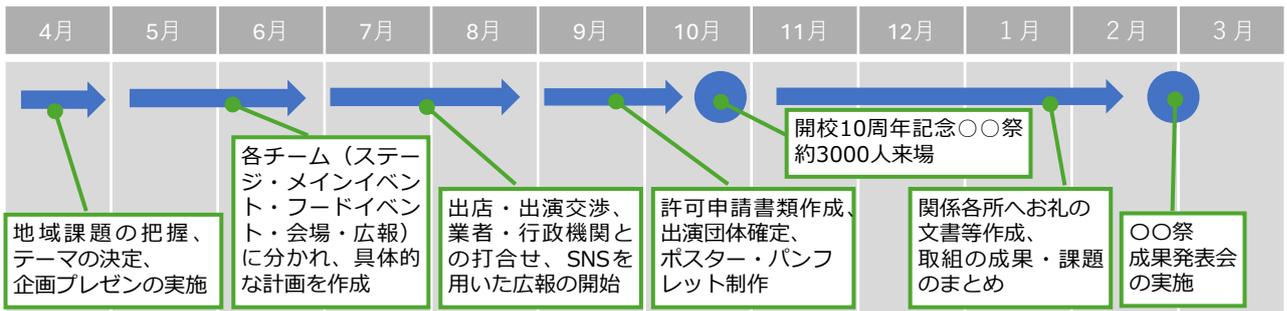
〇〇祭：参加した方が感じた思いを「〇〇」に込めることで、このイベントが完成すると考えた。

奥多摩町立奥多摩中学校

教育計画上の
のねらい

- 1 総合的な学習の時間を通して、生徒が郷土奥多摩町の現状と課題を調べ、解決の方法を考え探究し、地域の個人・団体等と連携して魅力ある持続可能な地域づくりに貢献することを目標とする。
- 2 探究学習を通して、生徒一人一人の課題対応能力や自己管理・自己理解能力、人間関係形成能力・社会形成能力、キャリアプランニング能力等の資質・能力を育成する。
- 3 地域貢献イベントの企画・運営によって、奥多摩の魅力を発信し、町の活性化という課題解決に向けて、主体的に学習する態度を育成する。

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「最初は自分たちにはできるか不安だったけれど、地域の方々と話し合う中で“町の大人も一緒に挑戦してくれている”ことが分かり、やる気が出た。自分たちで作った祭で人が笑顔になっているのを見て、地域を動かすことの意味を実感した。大人になるのが楽しみになった。」

参加した
児童・生徒

「仲間と一緒に創り上げていく姿はカッコよく、一生の宝物になると思った。」
「『できっこないをやらなくちゃ』を合言葉に挑戦していて、やり遂げた姿がとてもたかましかった。」

取組・実践



町役場の方々と打ち合わせをする様子

地域連携による学びの充実

本取組では、町役場・消防団・警察署・地元事業者など30団体以上と連携し、地域とともに実践的な学びを展開した。生徒は出店交渉や広報、行政機関に対する許可申請を通して地域と協力し、社会の仕組みや責任の重さを学んだ。フードイベントでは町内外約30店舗に依頼した。花火打ち上げでは消防署・消防団・業者に協力を求め、安全対策等にも主体的に関わった。これらの取組を通して、生徒は町民としての当事者意識を高め、試行錯誤しながら学びを深めることができた。



「〇〇祭」当日、開会宣言をする様子

生徒主体のプロジェクト運営

「〇〇祭」は3年生全員が主体的に、ステージ・花火・フード・会場・広報の5チームに分かれて企画・運営を行った。各チームが目標を設定し、定期的な会議で進捗や課題を共有しながら実践した。ステージは出演依頼や運営管理、花火は消防署等への申請と安全計画、フードは出店調整と来場者の動線の設計、広報はポスター制作やSNSでの情報発信、会場は警察と連携した交通規制の申請と安全確保を担当した。主体的・協働的に課題と向き合い、責任をもってやり遂げることができた。



〇〇祭のフィナーレで花火が打ち上がる様子

学習の振り返りと キャリアプランニング力の醸成

〇〇祭終了後、学習を振り返り、「自分たちが地域にどのような影響を与えられたのか」「次にどんな挑戦ができるか」を話し合った。各チームの成果や課題を整理し、1・2年生への報告も行った。また、地域の方へ感謝の気持ちを伝える機会も設けた。本取組を通して、生徒自身が「地域と共に学ぶ」意義を実感することができた。また、行事をやり遂げた達成感を味わうとともに、各々の挑戦につながる原動力になった。

成果

当日は雨にもかかわらず、町内外から約3,000人が来場し、会場は多くの笑顔と感動に包まれた。来場者アンケートでは94%が「奥多摩の魅力を感じた」100%が「〇〇祭が楽しかった」との回答が得られた。「ワクワクする気持ちを大切に、自分たちで創り上げた祭」が実現したことで、奥多摩町の魅力や町の活性化について、地域とともに考えることができた。本取組を通して、生徒一人一人が自分の意見を伝え、仲間と協力しながら最後まで責任をもってやり遂げることができた。主体性・協働性・創造力が育まれ、生徒自身の成長が何よりの成果だと考える。